

# 平成 2 3 年度 佐野市行政経営方針

平成 2 2 年 1 0 月

佐野市

# 目 次

|                         |      |
|-------------------------|------|
| 1. 行政経営方針策定の目的          | 1    |
| 2. 行政経営の基本方針            | 1    |
| (1) 行政経営システムの推進         | 1    |
| (2) 健全財政の堅持             | 1    |
| (3) 総合計画を推進する組織編成と職員の育成 | 1    |
| (4) 市民と行政の協働の推進         | 1    |
| 3. 平成23年度の取組み           | 2～3  |
| (1) 事務事業の重点化と見直しの推進     | 2    |
| (2) 決算状況を反映した予算編成       | 2    |
| (3) 総合計画を推進する組織編成       | 2    |
| (4) 総合計画を推進する職員の育成と人事管理 | 2    |
| (5) 市の役割の明確化と市民との協働の推進  | 2    |
| (6) 公共施設管理運営の見直し        | 3    |
| (7) 民間活力の活用             | 3    |
| (8) 特別職の報酬等の適正化         | 3    |
| (9) 岩舟町との合併の推進          | 3    |
| 4. 重点施策の選定と各施策の取組方針     | 4    |
| (1) 重点施策                | 4    |
| (2) 各施策の取組方針            | 4～12 |

## 平成23年度 佐野市行政経営方針

### 1. 行政経営方針策定の目的

本市は、総合計画基本構想で示した将来像「育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」の実現を目指すため、行政評価制度を活用して行政経営システムを構築し、総合計画に基づく行政経営に取り組んできた。

こうしたなか、本市の財政状況は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」においては、「健全段階」にあるとされているが、その実態は大変厳しい状況で、特に市税等の歳入は減少傾向が今後も続くと考えられる。

その一方で、職員数が減少するなか、行政サービスは増加傾向にあり、サービスの水準をどのように維持するのかについて、具体的な取り組みが必要である。

こうした状況を踏まえ、歳入に見合った歳出構造への転換を図るため、事務事業の見直しによる業務の効率化や職員の能力開発により、効率的・効果的な行政経営を行うことが重要である。

このような行政課題を解決し、総合計画に基づく行政経営を更に進めるために、平成23年度における行政経営の基本方針を示し、行政経営の指針とするものである。

### 2. 行政経営の基本方針

#### (1) 行政経営システムの推進

行政評価制度を活用し、計画と予算・決算、組織編成、人事管理・人材育成との連動を図り、効率的で効果的な行政経営を推進する。

#### (2) 健全財政の堅持

歳入については、長引く景気低迷の影響により、市税等の自主財源の減収が継続しているため、予算規模は縮小となり、財政の硬直化が進む状況にある。そこで、一般財源の効率的活用により、歳入に見合った歳出予算とするため、行政評価システムを活用した施策別枠配分方式により、歳出予算を編成する。

#### (3) 総合計画を推進する組織編成と職員の育成

総合計画に基づく行政経営を推進するために、政策体系を考慮した効率的・効果的な組織編成を行うとともに、職員の個々の能力・意欲を向上させる取り組みや人事配置を行い、組織全体の質の向上を図る。

#### (4) 市民と行政の協働の推進

「市民活動推進計画」に基づき、まちづくりの課題を市民と行政が共有し、適正な役割分担のもとに協働して対処できる仕組みを構築する。

### **３．平成２３年度の取組み**

以上の４つの基本方針に基づき、平成２３年度は以下の取組みを行う。

#### **（１）事務事業の重点化と見直しの推進**

施策・基本事業評価結果や事務事業優先度評価結果に基づき、総合計画中期基本計画に定められた施策の目的・目標を達成するために必要な事務事業を選定し、重点化を図るとともに、事務事業評価結果に基づき、「事務事業改革改善プロジェクト」で検証した事務事業の見直しの方向性を踏まえて、所期目的を達成した事務事業の廃止・休止、類似事務事業の整理統合を行う。

#### **（２）決算状況を反映した予算編成**

決算状況、財政分析指標及び行政評価システムにおける施策の貢献度評価と優先度評価に基づき、施策別枠配分方式を活用した予算の選択と集中により、財政の効率化を目指す。

#### **（３）総合計画を推進する組織編成**

組織・機構については、「佐野市組織機構に関する基本方針」に基づき、総合計画を推進するための政策主導型組織体制の整備、組織横断的な事務執行体制の定着化、効率的・効果的な組織体制の整備を進める。

#### **（４）総合計画を推進する職員の育成と人事管理**

人材育成については、「人材育成基本方針」及び「研修基本方針」に基づき、能力の向上と自律型職員の育成を図るため、各種の研修を実施する。

人事評価制度については、能力評価、業績評価制度の定着と評価結果を人事管理につなげる取組みを行っていく。

人事配置については、自己申告制度の充実・活用を図り、更なる女性職員の職域拡大や管理職への積極的な登用を図る。

職員定員の適正化については、「定員適正化計画」に基づき推進する。

#### **（５）市の役割の明確化と市民との協働の推進**

「市民活動推進計画」に基づき、市民との協働を活用した住みよいまちづくりを推進する。

地域団体、ＮＰＯ、ボランティア団体が行う公益活動を「市民活動モデル町会支援事業」や「市民活動参画支援事業」として支援することにより、市民の市政への参画、市民協働の推進を図る。

## **（６）公共施設管理運営の見直し**

「第２次佐野市行政改革大綱」の「公共施設の見直し」に基づき、施設の統廃合や存続について見直す。また、存続する施設については、計画的に施設の定期点検等を行い、長寿命化を図る。

さらに、施設の利用について、受益者負担の適正化を進める。

## **（７）民間活力の活用**

行政責任の確保と市民の安全性・サービス向上に留意しながら、事業コストの削減を目指して、民間への委託、指定管理者制度の積極的な活用を推進する。

## **（８）特別職の報酬等の適正化**

市長、副市長、教育長の報酬については、前年同様１０％削減を引き続き行う。

特別職の報酬等については、今までの検討経過を踏まえながら適正な報酬のあり方を検討する。

管理職手当については、引き続き削減を行う。

時間外勤務手当については、平成１８年度から実施している課毎の時間外勤務時間の枠配分を引き続き行うとともに、週休日の振替制度利用促進により、更なる縮減を図る。

## **（９）岩舟町との合併の推進**

平成２３年度末の合併を目指し、事務事業の一元化をはじめとする合併に向けた各種の調整を確実に行う。

#### 4. 重点施策の選定と各施策の取組方針

総合計画中期基本計画政策体系に定められた36施策のうち、政策会議における施策優先度評価により、成果向上を図るため重点的に取り組む必要があると判断された施策を重点施策とした。

また、施策ごとに取組方針を示し、これに基づいた事務事業の運営を行うこととする。

##### (1) 重点施策

政策会議で9施策を平成23年度の重点施策として選定した。その施策と選定理由は次のとおりである。

- ・「道路・公共交通網の整備とまちなかの活性化」は、北関東自動車道佐野田沼IC周辺開発事業の推進、佐野SAスマートICのアクセス道路整備と周辺開発の促進、中心市街地の活性化の推進が、今後の市勢伸展に重要であり、また、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連していることから、重点施策に位置づける。
- ・「子育てと仕事の両立支援」及び「こどもの健やかな成長・発達支援」は、今後のまちづくりに重要であると認識している市民の割合が高い施策であり、子育て家庭を支援することが、本市の将来を担うこどもの健全育成のために重要であることから、重点施策に位置づける。
- ・「活力ある農林業の振興」は、都市型農業の振興や中山間地域の活性化の推進が、産業振興に重要であり、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連していることから、重点施策に位置づける。
- ・「活力ある商業・鉱工業の振興」は、中小企業及び起業家に対する支援や「メイドインさの」のブランド化指定の取組みが、産業振興に重要であり、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連していることから、重点施策に位置づける。
- ・「企業誘致の促進」は、北関東自動車道全線開通に伴い、佐野田沼インター周辺開発を進める必要があり、企業誘致のための取組みを推進することが、今後の市勢伸展に重要なことから、重点施策に位置づける。
- ・「ひとを集める観光戦略の展開」は、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連しており、観光産業が地域経済の活性化を図り、交流人口を増加させるうえで重要なことから、重点施策に位置づける。
- ・「生涯スポーツ・レクリエーションの振興」は、市民一人1スポーツの更なる推進や指導者育成が必要であることから、重点施策に位置づける。
- ・「歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進」は、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連しており、歴史・伝統・文化資源を後世に残すことが必要であることから、重点施策に位置づける。

##### (2) 各施策の取組方針

政策会議で協議、決定した各施策の取組方針は、以下のとおりである。

| 施策名                  | 取組方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 重点施策選定理由                                                                                                                             |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 消防・防災体制の強化           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページや「広報さの」に防災に関する情報を掲載し、市民の防災意識の高揚を図る。</li> <li>・自主防災会の組織化を推進するため、未組織の町会に対する働きかけを強化する。</li> <li>・消防団機械器具置場、消防団ポンプ自動車及び消防水利の整備を計画的に行うとともに、町会や消防団OBと連携し、消防団員を確保する。</li> <li>・旧秋山川の整備は、平成25年度末までに必要流下能力の確保を目標としているため、全体計画を見直して事業を推進する。</li> </ul>                                                                  |                                                                                                                                      |
| 交通安全対策の推進            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全は家庭から」を基本理念として、保育園、幼稚園、小中学校、町会及び老人会と連携して、交通安全教育指導員等による交通安全教室や自転車運転講習会を行う。</li> <li>・交通安全施設の整備は、緊急性の高い危険箇所を中心に、カーブミラーやガードレール、街路灯を設置する。</li> <li>・通学路の安全を確保するため、歩車道を分離する「市道2級150号線交通安全施設等整備事業」を推進するとともに、「都市計画道路3・5・212号奈良湊堀米線」の歩道改築整備を計画的に行う。</li> </ul>                                                          |                                                                                                                                      |
| 防犯・消費者保護対策の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の防犯意識の高揚を図るため、佐野警察署、佐野市防犯協会と連携して、防犯情報の提供や防犯教育を行う。</li> <li>・地域の防犯活動を推進するため、佐野警察署、佐野市防犯協会と連携し、自主防犯団体の育成や活動支援を行うとともに、自主防犯団体とのネットワークを強化する。また、通学路等の安全を考慮した防犯灯の設置を支援する。</li> <li>・市民に正しい消費知識を習得してもらうため、消費生活講座を開催するとともに、町会や老人会に消費生活に関する専門講師を派遣し、教育・啓発活動を行う。</li> <li>・「消費者友の会」、「消費者リーダー連絡会」の活動や会員拡大の取組みを支援する。</li> </ul> |                                                                                                                                      |
| 秩序ある計画的な土地利用の推進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用の基本方針及び個別計画に基づき、市街ゾーン、田園・集落ゾーン及び森林ゾーンごとに計画的な土地利用を推進する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                      |
| 道路・公共交通網の整備とまちなかの活性化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野SAスマートIC設置と連携したアクセス道路を整備するとともに、拠点連絡道路の整備を推進する。</li> <li>・公共交通空白地域の解消に向けた検討を進めるとともに、観光交通、公共交通ネットワークの充実を図り、主要な交通の結節点の整備を推進する。</li> <li>・中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化基本計画」に基づき、イルミネーション点灯やイベン</li> </ul>                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長マニフェストの重点項目「北関東自動車道佐野田沼IC周辺開発事業の推進」、「佐野SAスマートICのアクセス道路整備及び周辺開発の促進」及び「中心市街地の活性化」</li> </ul> |

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                           | <p>ト等を開催するとともに、「佐野駅前交流プラザ」、「（仮称）まちなか活性化ビル」及び「佐野商工会議所まちなかサロン」等の施設を有機的に結びつけるために、市道５３、５４号線の歩道整備や市道１級１号線の整備を行う。</p>                                                                                                                                                                                        | <p>を推進する施策であること、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連している施策であることを踏まえ、今後の市勢伸展に重要な施策であるため、重点施策として選定した。</p> |
| 快適で質の高い住環境の整備             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に配慮した市営住宅とするため、計画的な修繕を行い、入居率の向上を図る。</li> <li>・生活道路や排水路の整備は、継続事業を重点的にを行い、新規に要望された箇所は、緊急性や効果等を勘案しながら計画的に整備する。</li> <li>・景観計画の策定及び景観条例の制定を行い、良好な景観形成に向けた取組みを進めるとともに、市民の景観意識の高揚を図るための啓発活動を行う。</li> <li>・公共施設の新設・改修等は、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方にに基づき整備する。</li> </ul> |                                                                                                |
| 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水道の有収水量の向上を図るため、老朽管を計画的に更新するとともに、漏水調査に基づき漏水修繕を迅速に行う。</li> <li>・上水道未普及地域を解消するための方策を検討する。</li> <li>・安全な水を供給するため、クリプトスポリジウム汚染防止対策として、紫外線照射装置を計画的に整備する。</li> <li>・下水道について、「生活排水処理構想」に基づき、事業エリアごとに適正な整備計画を策定して整備する。</li> </ul>                                     |                                                                                                |
| ごみの発生抑制と資源の有効活用           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化を推進するため、分別や水切りが不十分なおみ収集ステーションの利用者や事業所を対象に、ごみ分別排出の説明会を行うとともに、ごみステーションでの排出指導を行い、意識啓発を図る。</li> <li>・３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）運動を定着させるため、市民自らが行うリサイクル活動の場を拡充する。</li> <li>・搬入搬出ごみの適正な処理・処分を行うとともに、ごみ処理施設の適正な運営を行う。</li> </ul>                                      |                                                                                                |
| 良好な地域環境の保全と地球環境に配慮した生活の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境意識の高揚を図るため、市民や事業所に対して、環境保全に関する情報提供を行う。</li> <li>・良好な生活環境を維持するため、公害防止及び公衆衛生に関する意識啓発を行うとともに、環境パトロール隊による監視を強化する。</li> <li>・太陽光発電システム等の住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器導入を支援する取組みを継続して行う。</li> </ul>                                                                          |                                                                                                |



|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 豊かな自然環境の保全   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全に関する意識高揚を図るため、市民参加型の環境学習メニューの内容を検討し、自然観察会や自然とのふれあい体験の内容を充実させるとともに、より多くの市民が参加できるようにする。</li> <li>・市民環境リポーター及び自然保護活動ボランティアに多くの市民が参加できる取組みを行うとともに、自然保護活動団体の拡充を図る。また、自然保護活動の指導者を育成する。</li> <li>・県と連携し、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した健全な森林の保全、整備、再生に継続的に取り組む。</li> </ul>          |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 心と体の健康づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に「自分の健康は自分で守る」という、健康づくりに対する自発的な考え方を持ってもらえるよう、健康教室や健康相談等の様々な機会を通して、健康づくりに関する情報提供や啓発を行う。</li> <li>・各種検診（健診）における受診意識の高揚を図るとともに、検診体制の充実や受診率向上の取組みにより、疾病の早期発見、早期治療につなげる。</li> <li>・新型インフルエンザ等の感染症危機管理に対応できる組織体制を構築するとともに、乳幼児に対する任意の予防接種について、国や他市の動向を注視し、適切な対応を行う。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 地域医療体制の充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に「かかりつけ医」を持てるよう、普及啓発を行うとともに、医療機関の機能分担や連携を推進することで、医療体制の充実を図る。</li> <li>・市民病院の施設及び機器等の計画的な改修を行うとともに、二次救急医療輪番体制としての計画的な構築を進める。</li> <li>・救急医療及び高度医療体制の維持・充実を図るため、引き続き、救急医療機関に対する適正な支援を行う。</li> </ul>                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 子育てと仕事の両立支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てと仕事の両立支援として、「佐野市保育所整備運営計画」に基づき、計画的に保育園の整備を行うとともに、こどもクラブ未設置校区への対応を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長マニフェストの重点項目「こどもクラブ（学童保育）の整備」を推進する施策であること、平成23年度の重点課題「保育所整備運営計画に基づく保育園の整備」を推進する施策であること及び市政に関するアンケート調査結果から、今後のまちづくりに重要であると認識している市民の割合が高い施策であることを踏まえ、子育て家庭を支援することが、本市の将来を担うこどもの健全育成のために重要であることから、重点施策として選定した。</li> </ul> |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| こどもの<br>健やかな<br>成長・発達<br>支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健医療活動を充実させるため、保健師、助産師、栄養士等の人材を確保し、スキルアップを図る。</li> <li>・児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、援護を必要とするこどもに対する相談及び支援を充実させる。</li> </ul>                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長マニフェストの重点項目「幼保連携の推進」を推進する施策であること及び市政に関するアンケート調査結果から、今後のまちづくりに重要であると認識している市民の割合が高い施策であることを踏まえ、子育て家庭を支援することが、本市の将来を担うこどもの健全育成のために重要であることから、重点施策として選定した。</li> </ul> |
| 子育て支<br>援の充実                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の充実を図るため、こども手当や子宝祝金等の支給を行うとともに、児童館や子育て支援まちなかプラザの適正な運営を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                            |
| 豊かな長<br>寿社会の<br>実現          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定高齢者に対して、要支援や要介護状態になるのを防ぐための介護予防事業を推進する。</li> <li>・ひとり暮らしの高齢者等が自立した在宅生活を送れるよう、生活支援を継続して行う。</li> <li>・今後の高齢者福祉や介護保険制度の指針となる「佐野市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」を策定する。</li> </ul>                                                                    |                                                                                                                                                                                                            |
| 障がい者<br>の社会参<br>加と自立<br>の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に障がい者に対する理解を深めてもらうための啓発活動を充実させる。</li> <li>・相談支援センターにおける相談体制の充実を図るとともに、サポートファイルを活用して、発達障がい児等のサポート体制を確立する。</li> <li>・今後の障がい者に対する支援のあり方の指針となる「第Ⅲ期佐野市障がい者福祉計画」を策定する。</li> </ul>                                                             |                                                                                                                                                                                                            |
| 生活保障<br>の充実                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護制度の適正な運用を行うため、相談業務の充実や職員の資質向上に取り組むとともに、リバースモーゲージ（不動産担保型生活資金）制度に該当する保護申請者に対して、必要な調査を行い、適正な運用を図る。</li> <li>・稼働年齢にある被保護者の方の自立を促進するため、引き続き就労支援を行う。</li> <li>・国民健康保険制度の健全運営を図るため、電話催告や臨戸訪問等の対策により、国保税の収納率向上を図るとともに、適正な受診の啓発を行う。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                            |

|                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地 域 福 祉<br>を 支 え る<br>人 材 と 組<br>織 の 育 成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者個別プランの修正、管理を適切に行い、災害時の対応に備える。</li> <li>・地域福祉の向上に重要な役割を担う地区社会福祉協議会に対して、市と社会福祉協議会が連携して運営を支援する。</li> <li>・地域福祉の中心的役割を担う民生委員児童委員の活動を支援するため、委員に対する相談や協議の場を充実させる。</li> </ul>                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                          |
| 活 力 あ る<br>農 林 業 の<br>振 興                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者及び営農集団に対する支援を行い、担い手の育成・確保に努めるとともに、施設園芸に対する支援を引き続き行う。</li> <li>・農業公社への支援を充実させるとともに、農業協同組合や農業委員会と連携し、農地の利用集積を図る。</li> <li>・鳥獣被害が深刻化しているため、鳥獣害防止対策を強化する。</li> <li>・林業後継者を育成するため、林業経営安定化のための支援を強化する。</li> </ul>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長manifestoの重点項目「都市型農業の振興」及び「農山村地域の活性化」を推進する施策であること、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連している施策であることを踏まえ、都市型農業の振興や中山間地域の活性化等が、本市における今後の産業振興に重要であるため、重点施策として選定した。</li> </ul>                                |
| 活 力 あ る<br>商 業 ・ 鉱 工<br>業 の 振 興          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の経営安定のため、県信用保証協会や市内金融機関と連携して、制度融資の充実を図り、利用促進に努める。</li> <li>・「企業立地促進条例」に基づき、進出企業及び既存企業の増改築等に対する支援を行う。</li> <li>・「佐野ブランド化推進計画」に基づき、商業、鉱工業、農業及び観光等の分野で、「メイドインさの」の認証を進めるとともに、広くPRを行い、販路を拡大する。</li> <li>・勤労者福利厚生制度（両毛メート）に対する運営支援を行うとともに、様々な機会を利用して、加入促進のためのPR活動を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長manifestoの重点項目「中小企業者と起業家への支援強化」及び「「メイドインさの」のブランド化」を推進する施策であること、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連している施策であることを踏まえ、中小企業及び起業家に対する支援や「メイドインさの」のブランド化指定の取組みが、本市における今後の産業振興に重要であるため、重点施策として選定した。</li> </ul> |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>企業誘致の促進</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「黒袴第2工区」及び「佐野田沼インターチェンジ周辺」の開発を推進することで、新たな産業団地を整備し、企業誘致を図る。</li> <li>・産業団地の造成に併せて、進出企業に対する優遇策を検討するとともに、誘致活動を行うための活動方針を定め、企業の情報収集に努めながら、訪問等による誘致活動を行う。</li> </ul>                                                                  | <p>・市長マニフェストの重点項目「北関東自動車道佐野田沼IC周辺開発事業の推進」、「佐野SAスマートICのアクセス道路整備及び周辺開発の促進」及び「企業誘致への取組み」を推進する施策であり、佐野田沼インター周辺開発は北関東自動車道全線開通に伴い、重点的に進める必要があること、内陸型コンテナターミナルの実現に向けた取組みや企業誘致のための取組みを推進することが、今後の市勢伸展に重要なことから、重点施策として選定した。</p>     |
| <p>魅力ある観光資源の開発と整備</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知られていない観光資源について、観光協会及び観光関連業者と連携し、新しい観光スポットとして整備する。</li> <li>・観光資源、観光ルートの開発に伴い、観光案内看板等を計画的に整備する。</li> <li>・観光関連業者と連携し、観光ボランティアの活動拠点の整備や観光案内所の設置を行う。</li> <li>・「まちの駅」を設置する取組みを継続して行うとともに、「まちの駅」の組織化を図り、観光客の受け入れ体制を整備する。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>ひとを集める観光戦略の展開</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町と連携し、広域的な観光ルートの開発を推進する。</li> <li>・観光協会及び関係団体と連携し、日帰り観光客のニーズに対応した魅力ある観光ルートの開発を推進するとともに、観光キャラバンや誘客イベントの開催、広域的な共同観光PRを行い、誘客を図る。</li> <li>・宿泊客の増加を目指し、体験型宿泊施設事業に取り組むとともに、フィルムコミッション及びコンベンション事業の充実を図る。</li> </ul>                 | <p>・市長マニフェストの重点項目「観光誘客の推進」を推進する施策であること、リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連している施策であること及び平成23年度の重点課題「近隣市町との連携による広域的な観光ルートの開発」を推進する施策であることを踏まえ、観光産業が地域経済の活性化を図るだけでなく、交流人口を増加させ、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを行ううえで重要な施策であることから、重点施策として選定した。</p> |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特色ある教育と心の教育の推進        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の教育及び特別支援教育を推進するため、さわやか教育指導員、さわやか健康指導員及び特別支援学級支援員の質的量的な充実を図る。</li> <li>・新学習指導要領小学校完全実施に対応するため、各学校への指導充実を図る。</li> </ul>                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                     |
| 安全で安心して学べる教育環境の整備     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の安全性を高めるため、校舎等の耐震化やアスベスト除去を計画的に行うとともに、各学校と連携し、施設の危険箇所の即時対応に努める。</li> <li>・学校給食センター建設事業を計画的に推進する。</li> <li>・学校ICTの有効活用と、教員のICT活用の指導力向上を図る。</li> <li>・小中学校の教育設備及び備品等の老朽化が進んでいるため、計画的に更新する。</li> </ul>                                |                                                                                                                                                                                                                     |
| 生活を豊かにする生涯学習の推進       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習ボランティアの高齢化が進んでいることから、次世代を担うボランティアの発掘及び育成を図る。</li> <li>・青少年の健全育成を市民活動として定着させるため、「（仮称）青少年育成市民会議」を設置する。</li> </ul>                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                     |
| 生涯スポーツ・レクリエーションの振興    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民1スポーツの推進を図るため、スポーツ教室の内容やメニューを見直して、より多くの市民が参加できる取り組みを行う。</li> <li>・本市で開催される「第24回全国スポーツ・レクリエーション祭（ドッジボール競技）」について、万全の体制で取り組む。</li> </ul>                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの成果実績を踏まえて、市民一人1スポーツの更なる推進や指導者育成が必要であること、平成23年度の重点課題として、第24回全国スポーツ・レクリエーション祭り（ドッジボール競技）が本市で開催されるため、万全の体制で取り組む必要があることから、重点施策として選定した。</li> </ul>                          |
| 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・唐沢山城跡国指定史跡化後の現地立脚型資料展示施設確保のための具体策や埋蔵文化財の適切な保管場所の確保についての具体策を検討するとともに、国指定文化財「菜蟲譜」の修復を進め、文化財を適切に修復・保存する。</li> <li>・伝統文化の継承を図るため、伝統文化継承団体が行う後継者育成のための活動を支援する。</li> <li>・市民の文化・芸術活動を推進するため、文化・芸術活動団体が自主的な活動を行うことができるよう、育成・支援を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーディングプロジェクト「観光立市の推進」と密接に関連している施策であること、平成23年度の重点課題「埋蔵文化財の適切な保管場所の確保と唐沢山城跡国指定史跡化調査事業の推進及び国指定史跡化後の現地立脚型資料展示施設確保の検討」及び「国指定重要文化財「菜蟲譜」の修復」を推進する施策であることから、重点施策として選定した。</li> </ul> |

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 広報・広聴活動の充実と情報の共有化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広聴活動を充実させるため、テーマを明確にした市政懇談会を開催するとともに、広聴活動で得た市民の意見をどのように市政に反映させたのかについての情報提供を行う。</li> <li>・ 市民からの情報公開に迅速に対応するとともに、情報を適正に管理するためのファイリングシステムの検討を行う。</li> </ul>                                                         |  |
| 市民の主体的な活動の支援         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり基金の創設等、「佐野市市民活動推進計画」に基づく事業を推進する。</li> <li>・ 市民活動センターのホームページを充実し、情報提供や啓発に努め、利用者の増加を図る。</li> </ul>                                                                                                             |  |
| 国際交流と広域・地域連携の推進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内在住の外国人に対する相談窓口の充実を図る。</li> <li>・ 姉妹都市及び親善都市との交流事業の見直しを図るとともに、大学・短期大学との連携事業を充実させる。</li> </ul>                                                                                                                    |  |
| 個々の人権を尊重する地域社会の形成    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が人権の意義や重要性を知識としての理解だけではなく、人権について積極的に関心を持ち、人権に配慮した行動ができるよう、人権教育及び啓発を推進する。</li> </ul>                                                                                                                             |  |
| 男女共同参画社会の実現          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の男女共同参画についての意識高揚を図るため、講演会の開催や情報紙の発行等、啓発活動の充実を図る。</li> <li>・ 男女共同参画を推進する拠点施設として、男女共同参画推進センターの機能充実を図るとともに、「男女共同参画ネットワークさの」と協働して講座を開催し、啓発活動と団体活動の充実を図る。</li> </ul>                                                 |  |
| 電子化の推進と質の高い窓口サービスの提供 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いつでも、どこでも、だれでも」利用できる利便性の高い行政サービスを展開するため、市のホームページから各種行政手続きができるよう仕組みづくりを進める。</li> <li>・ ますます増大するコンピュータウィルス等への対策のため、情報セキュリティを強化する。</li> <li>・ 職場研修の実施等により、窓口職員の接遇意識の向上及び事務処理時間の迅速化を図るとともに、自動交付機利用のPRを行う。</li> </ul> |  |
| 効率的で健全な行財政運営の推進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「事務事業改革改善プロジェクト」により、行政評価結果を踏まえた事務事業の改革改善を行う。</li> <li>・ 自主財源を確保するため、市税収納率向上対策を推進する。</li> <li>・ メンタル面の長期病欠者が増加していることから、カウンセラーによるストレス相談の充実を図る等、職員のメンタルヘルス対策を強化する。</li> </ul>                                        |  |